

# 図書館ニュース

宮城県小牛田農林高等  
学校図書館  
No.1 2令和3年  
12月20日発行

## ○東京大学名誉教授 小森陽一先生が来校されました

12月13日（月）、東京大学名誉教授の小森陽一先生が来校し、1年2組で「羅生門」の授業を、放課後には図書委員と希望生徒を対象に座談会を行いました。座談会のテーマは、「自分と読書の関わり」です。

小森先生がテーマについて質問し、生徒の発言に対してさらに小森先生からお話いただき、考えをみんなで深めていきました。

また、「日本語で本を読むこと」についてもお話いただきました。

座談会に参加した生徒が書いた感想を抜粋します。

- ・本が与える印象や、本を読むタイミング、何の本を読むかは人それぞれなんだと思いました。本を読んで癒やしという人、面白いから読むという人、たくさんの発想に驚きました。私は小学校からマンガばかり読んでいて、小説を読むことは少なかったです。でも今回受けてみて、小森先生が「本はいろいろな種類があるでしょ？たとえばマンガとか」と言っていて、やっぱり本は小説だけじゃないんだと嬉しく思いました。
- ・今日、小森先生の授業を受けて、「本を読むこと」について、自分の中で改めて考えることができました。また、他の人の本との関わりについて聞ける機会は今までなかったので、すごく貴重な時間だったと思います。それぞれ、人によって本を読む用途や考えが違うので、聞いていてとても面白かったです。伝記や哲学書、小説、エッセイ、様々な本があるので、これからもっとたくさんのジャンルの本と触れ合っていきたいと思いました。

小森先生はみんなに質問して、否定したり、自分の考えを押しつけたりするのではなく、質問して自分の考えに新しく知識を足していくような姿で、優しい人なんだなと思いました。



他の人たちの本との関係を聞いて、人によって全然違うし、推理小説を読んでいる人がたくさんいて驚きました。



今日の講演を聞いてみんないろいろな本を読んでいるんだなと思いました。自分はそのまで本を読まないで、みんな読んでいたことにびっくりしました。



## ○いろいろな視点から考えて見よう～食品ロス～

食品ロス＝売れ残りや食べ残し、期限切れ食品など、本来は食べることができたはずの食品が廃棄されること。



日本では、1日で1人あたりおにぎり1個分がロスしている！！

SDGsとも関係が深い食品ロスについて、学校の勉強とはどのようなつながりがあるでしょうか。図書室前に一例が展示してあります。

自分の選択している授業とのつながりも考えてみよう！



『捨てられる食べものたち』

旬報社／井出留美著

この本に詳しく載っています

The display board is titled "～食品ロス～" (Food Waste) and "一つのテーマについて、色々な教科の視点から考えてみよう。" (Let's think about one theme from various subjects' perspectives). It includes sections for:

- 食育 (Food Education):** Discusses the importance of food, food safety, and local food products.
- フードマイレージ (Food Miles):** Explains the distance food travels from production to consumption, highlighting environmental impacts.
- 食料自給率 (Food Self-Sufficiency Rate):** Compares Japan's low self-sufficiency rate with other countries.
- ESG投資 (ESG Investment):** Links food waste to environmental, social, and governance factors.
- エコフッキング (Eco-fucking):** Promotes eco-friendly eating habits like reducing meat consumption.
- 地産地消 (Local Production, Local Consumption):** Encourages buying and eating locally produced food.

Below the board, several books are displayed on stands, including titles like "フードマイレージ", "食料", and "小さな会社のSDGs実践の教科書".

## ○冬休み中の本の貸し出しについて

普段の貸し出しは1人5冊までですが、長期休業中は1人10冊まで貸し出しできます。

この機会に、是非たくさん本を読んでみてください！